

<推進指標>

No	基本目標 — 個別施策 方針	項目名 (関連計画等)	計画策定時	直近値	策定時と の 比較	関係する事業	担当課	令和3(2021)年度の具体的な取り組み
1	1-1	介護予防サポーター (老人福祉計画・ 第7期介護保険事業計画)	平成30年 1,240人	令和3年 1,291人	↑	(市) 1-1-1-6-2	長寿包括ケア課	・サポーター養成研修は全8回の予定だったが、新型コロナウイルスの影響で3回のみ実施、新規養成者数は43人(R2年度=28人)となった。
2	1-1	健康寿命の延伸 (前橋市健康増進計画)	平成28年 男性 72.14 女性 74.79	令和元年 男性 72.68 女性 75.38	↑	(市) 1-1-1-4-1	健康増進課	・いきいき健康教室は地域の活動団体へ出向く出張型の健康教室、生活習慣病予防や健康寿命の話など住民に身近な健康話題を提供している。 ・令和3年度は21件、2300人に実施した。
3	1-1	前橋市の自殺死亡率 (前橋市自殺対策推進計画)	平成28年 18.3% (人口10万対)	令和3年 16.42%	↑	(市) 1-1-1-7-1	保健予防課	・心の健康や自殺予防についての講座を13回実施し620人が受講した。うち、6回はオンラインや動画による講座を実施し、261人が受講した。
4	1-1	ふれあい・いきいきサロン数 (高齢者サロン・子育てサロン・ 障害者サロンの合計)	平成30年 301か所	令和3年 308か所	↑	(社協) 1-1-1-1-1 1-1-1-1-2	社会福祉協議会	・コロナ禍ではあったが、各サロンにおいてそれぞれ工夫を凝らし、つながりを切らないため、形態を変えてのサロン維持に努めていただいた。社会福祉協議会では、サロン支援のための冊子を発行し情報発信に努めた。
5	1-2	自主防災組織の組織数 (前橋市地域防災計画)	平成30年 235自治会	令和3年 245自治会	↑	(市) 1-1-2-9-1	防災危機管理課	・防災アドバイザーを中心に、自主防災会や各種団体(市内企業や老人クラブ等)の防災訓練に71件、出前講座20件の支援を行ない、地域の防災力の向上に努めた。 ・防災資機材や備蓄食糧等の購入費を対象経費として、防災訓練経費補助を実施し、地域における防災力向上を図るよう努めた。(2021年度補助実績65件)
6	1-2	見守り活動助成自治会数	令和元年 50自治会	令和3年 53自治会	↑	(社協) 1-1-2-1-1	社会福祉協議会	・コロナ禍でサロンが実施できない状況が続き、見守り活動にシフトして実施する自治会もあり、令和4年度の助成のしくみを変更する契機となった。
7	1-2	安心カード配布枚数 (累計)	平成30年 63,572枚	令和3年 76,780枚	↑	(社協) 1-1-2-1-4	社会福祉協議会	・令和3年度の配布枚数は3,880枚で、累計76,780枚となった。コロナ禍によりイベント型の配布方法は停滞したが、配布窓口となった郵便局、調剤薬局と事業連携が図れ、必要な方への事業周知と配布は進めることができた。
8	1-3	認知症サポーター数 (老人福祉計画・ 第7期介護保険事業計画)	平成30年 22,186人	令和3年 26,809人	↑	(市) 1-1-3-13-1	長寿包括ケア課	・市主催の養成講座(年2回)の他に、認知症こどもサポーター養成講座も開催した(オンライン)。 ・団体・企業・学校等からの依頼によるものと、民間のキャラバン・メイトによる養成講座も実施した。 ・養成者数は、R3年度=1,314名。
9	1-3	支え合い活動団体数 (買い物支援等)	平成30年 3団体		—	(社協) 1-1-3-1-2 1-1-3-1-3	社会福祉協議会	・買い物支援の団体は実質0となったが、自治会を基盤とした支え合い活動が広がり、後の町社協のしくみづくりの基盤へとつながった。
10	2-2	権利擁護の地域連携ネットワーク における中核機関設置 (前橋市成年後見制度利用促進計画)	令和元年 未設置	令和3年10月 設置	↑	(市) 2-2-2-21-5	社会福祉課	・令和3年10月に前橋市社会福祉協議会を委託先として設置した。

No	基本目標 － 個別施策 方針	項目名 (関連計画等)	計画策定時	直近値	策定時と の 比較	関係する事業	担当課	令和3(2021)年度の具体的な取り組み
11	2-3	社会を明るくする運動 “社明パレード”参加者数 (前橋市再犯防止推進計画)	令和元年 約1,200人	令和3年 中止	—	(市)2-2-3-25-2	社会福祉課	・保護司、更生保護女性会等と連携し、「社会を明るくする運動」の取組を推進した。また「群馬県再犯防止・立ち直り支援ネットワーク会議」に参加し、関係機関との連携強化を図っている。
12	2-3	学習支援(M-change)参加生徒 高等学校等進学率	平成30年 100%	令和3年 100%	→	(市)2-2-3-23-1	社会福祉課	・まえばし学習支援事業(M-change)として、75名の中学生が参加し、学習支援を実施した。 ・生活保護世帯の中学3年生を対象に、就学支援員による高等学校等進学支援プログラムによる進学支援を実施した。
13	3-1	前橋市ファミリーサポートセンター “提供会員(両方会員含む)”数 (前橋市子ども・子育て支援事業計画)	平成30年 487人	令和3年 387人	↓	(市)3-3-1-26-2	子育て施設課	・仕事と家庭の両立支援及び児童福祉の向上を目的として、ファミリーサポートセンター事業を実施した。 ・提供会員向け講習会を7月と11月に開催した。また、広報等による周知活動も例年通り行ったものの、会員数は減少した。
14	3-1	①手話奉仕員養成講座受講数 ②点訳奉仕員養成講座受講者数 (前橋市第3次障害者福祉計画)	平成30年 ①137人 ②13人	令和3年 ①81人 ②8人	↓	(市)3-3-1-27-1	障害福祉課	・手話奉仕員養成講座受講者数 (H30)137人 (R元)101人 (R2)中止 (R3)81人。 ・点訳奉仕員養成講座受講者数 (H30)13人 (R元)10人 (R2)中止 (R3)8人。 ・令和2年度を除き、手話・点訳奉仕員共に、各自の通訳技術の取得・向上を図ることができた
15	3-1	食に関するボランティアの数 (第3次前橋市食育推進計画)	平成29年 5団体 1,735人	令和3年 12団体 1,873人	↑	(市)3-3-1-27-2	健康増進課	・食生活改善推進員養成講座(健康大学) R3年度実施なし。 ・団体の活動内容から、講座に調理実習と試食を予定していたが、コロナ禍のため、開催を見合わせた。
16	3-2	市民活動支援センターボランティア 登録団体数	平成30年 353団体	令和3年 375団体	↑	(市)3-3-2-32-2	生活課	・「つながる“3分”プロジェクト」は様々な「協働」を形にするため、参加した市民活動団体や企業等が「組織の強み・弱み」を3分間でプレゼンテーションし、様々な分野の団体同士のつながりや活動の発展のきっかけづくりが行えた。 ・「Mサポふれあい祭り」は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。
17	3-2	公民館の自主学習グループ 団体数	平成30年 811団体	令和3年 689団体	↓	(市)3-3-2-33-1	生涯学習課	・コロナ禍で自主学習グループの数や会員数が減っているが、講座受講者に対し働きかけを行い、新しい自主学習グループを24結成することができた。